

# ペダル踏み間違い時急加速抑制装置

## Accerallation Control for Pedal Error

### 序文

日本は、世界で最も高齢化が進む国であり、今後は欧米各国をはじめ世界的に高齢化が進むことが予想されている。日本における高齢ドライバーに多い事故の一つとして、アクセルとブレーキとのペダル踏み間違いに起因する事故が挙げられ、具体的には、他の車両、建物などの障害物に衝突する事故が多い。高齢化が進む現状に鑑みて、この規格では、そのような障害物との衝突事故の被害軽減をサポートする、ペダル踏み間違い時急加速抑制装置の機能要件を規定する。

### 1 適用範囲

この規格は、ペダル踏み間違い時急加速抑制装置（以下、装置という。）の機能要件及び要件適合を確認するための試験方法について規定するものである。この装置は、ドライバーがブレーキと間違えてアクセルを踏み込んだ場合、加速を抑制することによって、障害物との衝突被害軽減をサポートする能力をもつ。この規格が対象とする障害物は、車両、壁などの構造物である。この規格は、小型車に搭載された装置に適用されるもので、大型車、二輪車などの車両カテゴリーに搭載された装置には適用しない。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**ISO 19206-1**, Road vehicles – Test devices for target vehicles, vulnerable road users and other objects, for assessment of active safety functions –Part 1: Requirements for passenger vehicle rear-end targets

**ISO 19206-3**, Road vehicles – Test devices for target vehicles, vulnerable road users and other objects, for assessment of active safety functions –Part 3: Requirements for passenger vehicle 3D targets

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

#### 3.1

##### ペダル踏み間違い時急加速抑制装置

停止した車両の前方又は後方に障害物を検知している状況において、ドライバーがブレーキと間違えてアクセルを急にかつ大きく踏み込んだことを検出した場合に、急加速を抑制する機能をもつ装置で、これによって障害物との衝突被害軽減を期待することができる